

きいて・めもして・こたえよう

歴史ガイドの話・古ふんの なぞ

なまえ
名前

聞くめあて 調査で「分かっている事実」と、まだ「推測されているなぞ」を、分けてメモしましょう。

おとさない言葉：分かっている事実・推測されているなぞ

放送が終わったら、開いて問題に答えましょう。



やまおり

(1) この古ふんは、上から見るとどのような形をしていますか。○をつけましょう。

ア 前が四角く、後ろが丸い形 (前方後円ふん)

イ 丸い形

ウ 三角の形

(2) 調査で「分かっている事実」として、古ふんの長さはおよそ何メートルと話していましたか。

(3) 「だれがねむっているか」について、田村さんはどのように話していましたか。○をつけましょう。

ア 力の強いごうぞくと考えられるが、名前はなぞのまま

イ 名前もはっきり分かっている

ウ だれもねむっていない

(4) はにわが置かれた理由について、田村さんの話し方から分かることは何ですか。○をつけましょう。

ア はっきり分かっている

イ 一つの答えに決まっている

(5) あなたが古ふんについて「もっと知りたい」と思ったのはどんなことですか。理由とともに書きましょう。

すすめ方

- ① 中央の点線で山折りにして、「めも」の面だけを表にする（問題を先に見せない）。
- ② この放送文を先生が読む（または用意した音声を流す）。読む回数：1回。聞きながらメモを取らせる。
- ③ 放送が終わったらプリントを開き、メモを見ながら問題に答えさせる。

放送文

今日は、地元の、古ふんを、案内して、くださる、歴史ガイドの、田村さんの、お話です。田村さんは、古ふんの、「分かっている、事実」と、「推測されている、なぞ」を、分けて、話して、くださいます。

「この、古ふんは、今から、およそ、千五百年前に、つくられました」と、田村さんは、話します。「上から、見ると、かぎあなのような、形。前が、四角く、後ろが、丸い、『前方後円ふん』と、よばれる、形です。長さは、およそ、百メートル。土を、高く、盛り上げて、つくられて、います。ここまでは、調査で、分かっている、事実です。」

「では、だれが、ここに、ねむって、いるので、しょう」と、田村さんは、声を、ひそめます。「じつは、それは、はっきりとは、分かって、いません。これほど、大きな、古ふんを、つくれたのですから、この、地方を、おさめた、力の、強い、ごうぞくだった、と、考えられて、います。ですが、名前までは、記録が、なく、なぞの、ままです。」

「古ふんの、まわりからは、はにわも、見つかって、います」と、田村さんは、続けます。「人や、馬、家の、形を、した、やき物です。なぜ、置かれたのかは、いくつかの、説が、あります。死者を、守る、ためとも、生きた、人の、代わりとも、言われますが、これも、推測の、一つです。」

田村さんは、最後に、言いました。「歴史の、おもしろさは、分かって、いることと、なぞの、両方が、あることです。みなさんも、『なぜ』を、大切に、して、古ふんを、見て、みてください。」事実と、推測を、分けて、聞くと、話が、ぐっと、深く、なりますね。

メモのれい

歴史ガイド・田村さんの話（古ふんの事実となぞ）

事実：約1500年前／前方後円ふん（前は四角・後ろは丸）／長さ約100m／土を盛り上げてつくった

なぞ（推測）：だれがねむるか＝力の強いごうぞくと考えられるが名前は不明

はにわ：人・馬・家の形のやき物／置かれた理由は諸説（死者を守る／生きた人の代わり）＝推測

こたえと かいせつ

(1) ア（前が四角く、後ろが丸い形＝前方後円ふん）

「前が、四角く、後ろが、丸い、『前方後円ふん』と説明していました。」

(2) およそ百メートル

「長さは、およそ、百メートル」と、調査で分かっている事実として話していました。

(3) ア（力の強いごうぞくと考えられるが、名前はなぞのまま）

「ごうぞくだった、と、考えられて、います」＝推測。「名前までは…なぞの、まま」と言っていました。

(4) ア（はっきり分かっておらず、いくつかの説がある）

「いくつかの、説が、あります」「これも、推測の、一つです」＝まだなぞの部分です。

(5) (例) はにわがなぜ置かれたのかを知りたい。いくつも説があると聞いて、本当の理由が気になったから。

「知りたいこと」と「理由」が書けていれば正解です。